

平成30年度全国景観会議 中国四国ブロック会議報告

鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課



会議概要

■開催日

平成30年 11月15日（木）～16日（金）

■会議会場

鳥取県立生涯学習センター（ふれあい会館）大研修室

■現地研修会

鳥取県智頭町内

■参加者（23名）

国土交通省中国地方整備局、国土交通省四国地方整備局

会員県：島根県（16日のみ）、山口県、愛媛県、高知県、鳥取県（事務局）

会員県外：岡山県、広島県、鳥取市、倉吉市、米子市、岩美町、智頭町、湯梨浜町、北栄町

会議内容（1日目）

議事

- （1）来年度の国等への要望について
- （2）全国会議での検討事項について
- （3）提案議題について
- （4）次期開催県について

取組発表

- （1）鳥取県の取組状況「鳥取県の景観行政の取組について」
- （2）鳥取市の取組事例「鳥取市鹿野地区の街なみ環境整備事業の取組み」
- （3）倉吉市の取組事例「倉吉市の景観について」



提案議題について

議題	内容	提案県
議題 1	太陽光パネルの届出基準や景観形成基準の現状と今後の対策について	鳥取県
議題 2	景観行政団体となった市町村に対する支援等について	山口県
議題 3	県内市町村を対象とした景観計画策定推進に向けた取組について	香川県
議題 4	良好な景観形成に関する県から市町への啓発・支援について	愛媛県
議題 5	景観行政団体への移行について	高知県

市町村の景観行政団体への移行促進、支援についての提案が多かった

現地研修会（2日目）

現地研修概要

■ 視察地について

智頭町は鳥取県の東南部に位置し、町土の93%が山林である。

智頭町は古くから林業を生業として文化が発展し、山林の78.3%が人工林。

江戸時代には参勤交代の宿場町として栄えた。

智頭町は平成30年2月に「林業景観」として全国で初めて重要文化的景観に登録された。

■ 視察箇所

旧山形小学校（林業資料館）、杉神社（全国唯一杉の霊を祀る神社）

石谷家住宅（智頭宿内）

現地研修会（2日目）

旧山形小学校（林業資料館）



昭和17年に智頭産の杉を使って建築され、平成24年度に小学校の統合が行われるまで利用された。現在は林業資料館の他、林業に関する企業が5社シェアオフィスとして利用している。

現地研修会（2日目）

杉神社



全国唯一の杉の霊を祀る神社で神社庁にも登録されている。
ご神体は高さ12mの三角塔で、拝殿、本殿はない。

当日は「山の神」の日で山への立ち入りが禁止だった。

現地研修会（2日目）

智頭宿、石谷家住宅



智頭宿は奈良時代以来の畿内と因幡を結ぶ道で江戸時代には参勤交代の道でもあった智頭往来と備前街道が合流する地で宿場町として栄えた。道路の幅は当時から変わらない。石谷家住宅は国の重要文化財として登録されており、明治以降山林地主として栄えた石谷家の居所である。